

豊水

Shizuoka Deep Seawater ARC NEWS
Vol. 17

静岡県水産技術研究所

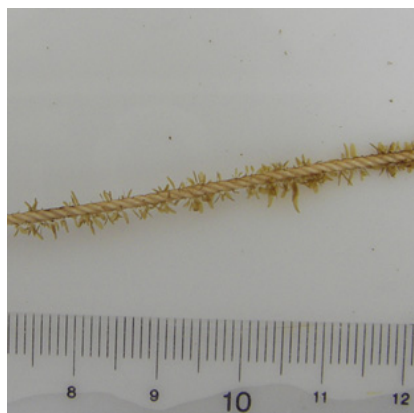
駿河湾深層水水産利用施設

Suruga-Bay Deep Seawater Aquaculture Research Center
of Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery

サガラメ冬季海面養殖の試み 駿河湾深層水で育てた種苗を利用

サガラメは、かつては静岡県牧之原市及び御前崎市沿岸（榛南海域）に生育し、食用として利用されていました。しかし、昭和60年頃からサガラメがなくなり、現在、この海域での水揚げはありません。

静岡県水産技術研究所では、駿河湾深層水を用いてサガラメ種苗を作る技術を開発してきました（豊水 Vol. 3, 5, 7 で紹介）が、今回、深層水で作った種苗を榛南海域に持って行き、海面養殖を試みました。



種苗（ロープに付いている）



養殖ロープ

養殖試験は平成18年12月～19年4月まで、牧之原市地頭方港内で行いました。その結果、4月には葉の長さが25cm、幅が6cm位のサガラメが、養殖ロープ1.5mあたり約1Kg収穫できました。乾したサガラメをみそ汁に入れると、独特の粘りと風味がありました。今後、サガラメを養殖し、地域特産品として復活させる可能性が出てきました。

（深層水研究室 二村和視）